



文：小川 康成

進む、電気自動車への流れ

先日の事です、信号停止中の1台の見慣れない車。青信号に変わるや否や物凄いロケットスタートで、あっという間にはるか前で、こちらは唖然としました。
「あれは確か、テスラのモデルSだったな～」と思い、調べると驚きの性能が判りました。

- ① 時速 100Km までわずか **2.7 秒**
(フェラーリ 488GTB 3.0 秒、ランボルギーニ・ウラカン 2.9 秒)
価格はテスラ・モデルS1,706万円、フェラーリ 3,150万円、ランボルギーニ 3,417万円と世界有数のスーパーカーの約2分の1の価格です。
噂では、本気で急発進するとむち打ちになるとかならないとか…
- ② 走行距離も1回の満充電で800Km近く走行可能との事。電池特有の放電による消耗はあるようですが、日常使用の走行距離としては十分でしょう。
- ③ さらにテスラジャパンのホームページには「**対生物兵器モード**」なる文字が…？
何かと思えば、微粒子ガスやアレルギー物質・バクテリアなどの汚染物質を室内の空気から取り除く陽圧をかけるそうです。**一瞬、エイリアンとでも戦えるのかと(笑)**

中国・ヨーロッパを始め、世界は大きく電気自動車(EV)へ舵を切り始めており、自動車産業が中心の愛知県民にとっては、この流れは他人事ではありません。
地元T社も、2020年にバッテリーのみで走る車を10車種にし、2025年末には全車種にEV/HVカーを導入すると発表しました。世界からは大きく出遅れての発信となりましたが、テスラの高性能振りを目の前で見ると案外電気自動車も受け入れられるのが早いような気がします。(家庭での充電に時間がかかるなど、課題もあるようですが…)

転じて、日本では「水素自動車(FCV)」も引き続き開発して行くそうですが、水素ステーションの設置には約5億円かかるとも言われており、普及に時間がかかるので維持コストが30分の1以下で済むEVの方が恐らく普及が早いでしょう。
EVの最大の特徴は、エンジンが無いので圧倒的に部品点数が少なく、汎用に近い部品でも作ってしまうという事ようです。(大学の研究室でも作れる?)
という事は、長く“エンジン”というコア技術を独占し、T社を中心としたピラミッド構造であった自動車産業にとって、そのアドバンテージがなくなると言う事ではないでしょうか。
10年後には、大小さまざまな電気自動車メーカーが乱立して、50年代のアメリカ車みたいに個性豊かで楽しい車がたくさん走っていると面白いなーと空想してしまいます。

日本の自動車保険は100年を超える歴史がありますが、その時に自動車保険はどのような形になっているのか？我々も、対岸の火事ではいられないのですが(笑)
「少し先の未来を気にしながらも、日々の仕事もきちんとこなして行こう」と思う、今日この頃です。

クラークメンバー 近況報告

大阪観光！

いつもは大阪から名古屋に遊びに来てくれている友達の所へたまには行ってみよう、ということで友達3人で会いに行ってきました！

とにかくたくさん食べようと思っていたので、早速たこ焼きを食べに道頓堀へ！いろいろなもの食べるとかと思いきや、まさかのたこ焼き屋を3件ハシゴ！普通のソース味以外にもチーズ、トリュフ、ペペロンチーノの三種盛りも食べてみましたが、個人的にはたこ焼きはソース味が一番でした（笑）夜も大阪らしいものを食べたいとなり、串揚げを食べにいきました。



本当に一日中食べてばかりの大阪観光になってしまいました。

次の日も時間があるということで、半日程京都へ。

ほとんど観光できなかったのが今度は京都をメインに計画して行きたいと思います！

岩瀬 英之



今年の2月はオリンピック！

2月と言えばバレンタインですが、今年はオリンピックがビッグイベントでしたね。テレビで連日放送される試合をワクワク、ドキドキしながら観ていました。

リアルタイムで観戦できたスピードスケートのパシュートは勝った瞬間立ち上がって喜んでしまいました。

特に注目していたのはフィギュアスケートで、金メダル有力候補の羽生選手と愛知出身の宇野選手がよくテレビで取り上げられていましたね。

愛知出身といえば、フィギュアスケート・フリーの試合が行われた日、日本では藤井四段（当時）と羽生竜王の将棋の試合が行われていましたね。

こちらもかなりの注目を浴びていて、試合が終わってから一日のうちに号外が2つも出たそうです。ネットでは羽生竜王と羽生選手の名前が入り乱れて混乱している様子もありました。

読み方が違う同じ漢字の名字がトップニュースに並ぶことは中々ないでしょうから、なんだか貴重な体験をした気分です。（*^-^*）

同じ愛知出身の人が活躍しているのを見ると自分も頑張らなくては！という気持ちになります。



小池奈菜子

お雛めぐり

瀬戸蔵のピラミッド型巨大ひな段『ひなミッド』を見てみたくて瀬戸のお雛めぐりに行ってきました。中に入ると高さ4メートルもある赤い『ひなミッド』と、長い吊るし雛があり迫力があり素敵でした。

雛人形だと思っていたら陶磁器やガラスの創作雛が四方に並んでいました。銀座通り商店街のお店には、明治時代の屏風飾りや昭和中期の御殿飾りの珍しい雛人形が飾ってあり、貴重な雛人形を見られてよかったです。今回初めて知りましたが、お雛めぐりは日本遺産になっていて瀬戸では有名なのですね。また、歩いているとあらゆるところに



明治時代のお雛様

『藤井聡太6段おめでとう！』の文字が。お雛めぐりと藤井聡太6段祝いで賑わっているかとおもいきや、土曜日でも思ったより人がいなくて少し盛り上がり欠けている感じでした。体験や、イベントもあったので、また娘が大きくなってから行きたいと思います。 古川 友架